

平成 28 年度内外環境応答・代謝酵素研究会
会期:平成 28 年 9 月 17 日(土)、18 日(日)
会場:静岡県立大学薬学部(静岡市駿河区谷田 52-1)

プログラム

■ 1日目 9月17日(土)

13:00 開会挨拶

13:05~14:05 特別講演

「飲食物の機能性と薬との相互作用」 山田静雄先生(静岡県立大学薬食研究推進センター長)

座長:吉成浩一(静岡県立大学薬学部)

14:05~14:50 ポスター発表者によるショートプレゼンテーション

座長:生城真一(富山県立大学工学部)、中島美紀(金沢大学医薬保健研究域薬学系)

14:50~15:05 休憩(15 分間)

15:05~16:05 一般口演1

座長:岩野英知(酪農学園大学)

- ・ O-1 藤原亮一(北里大学薬学部)
「ピリルビン合成阻害剤による UDP-グルクロン酸転移酵素 1 (UGT1) ノックアウトマウス致死性の回避」
- ・ O-2 石井祐次(九州大学大学院薬学研究院)
「シトクロム P450 3A4 による UDP-グルクロン酸転移酵素 1A7 の調節」
- ・ O-3 丹羽隆介(筑波大学生命環境系)
「創農薬を目指した昆虫グルタチオン S-転移酵素 Noppera-bo に対する阻害剤スクリーニング」

16:05~16:15 休憩(10 分間)

16:15~17:15 教育講演

「生物の進化と P450 の進化」 大村恒雄先生(九州大学名誉教授)

座長:川尻要(埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所)

17:15~18:15 ポスターセッション(奇数番号示説)

18:15~18:30 事務連絡、移動

18:30~20:30 懇親会(はばたき棟地下食堂)

■ 2日目 9月18日(日)

9:10~10:40 学生口演

座長:永田 清(東北医科薬科大学薬学部)、石井祐次(九州大学大学院薬学研究院)

- ・ S-1 高松将士(富山県立大学工学研究科)
「CYP27B1 遺伝子欠損マウスを用いた 25-ヒドロキシビタミン D3 生理作用の検証」
- ・ S-2 横堀紘祐(千葉大学大学院医学薬学府)
「3 次元培養条件が PXR および CAR の細胞内局在におよぼす影響」
- ・ S-3 近藤誉充(北海道大学獣医学部獣医学科)
「UGT2B サブファミリーに着目した食肉目におけるグルクロン酸抱合能の動物種差解明」
- ・ S-4 高橋美玲(静岡県立大学薬学部)
「環境汚染物質 perfluorocarboxylic acids によるヒトおよびマウス CAR 活性化」
- ・ S-5 山下直哉(東邦大学薬学部)
「AhR の乳がん幹細胞における役割」
- ・ S-6 家子貴裕(酪農学園大学獣医学部)

「骨格筋におけるステロイドホルモンの局所合成とその意義」

10:40～11:40 ポスターセッション(偶数番号示説)

11:40～12:40 一般口演2

座長:佐能正剛(広島大学大学院医歯薬保健学研究院)

- ・ O-4 進藤佐和子(東北医科薬科大学薬学部)
「免疫細胞に発現するリン酸化 ER α の炎症抑制作用」
- ・ O-5 後藤紗希(金沢大学医薬保健研究域薬学系)
「核内受容体 PXR によるグルコースシグナル伝達の肝糖新生制御の解明」
- ・ O-6 菅野裕一郎(東邦大学薬学部)
「CAR による遺伝子選択的発現調節機構の解析」

12:40～13:30 昼食、休憩

13:30～14:30 一般口演3

座長:一瀬博文(九州大学大学院農学研究院)

- ・ O-7 大黒亜美(関西学院大学理工学部生命医化学科)
「アラキドン酸及びドコサヘキサエン酸代謝における P450 及びエポキシド加水分解酵素の生理機能解析」
- ・ O-8 関本征史(麻布大学生命・環境科学部)
「CYP1A 酵素誘導・機能に対する発がん性芳香族アミン類の影響」
- ・ O-9 衣斐義一(兵庫県立大学大学院生命理学研究科)
「ABC トランスポーターのサブファミリー C に属する分子種の細胞膜での極性局在化」

14:30～15:30 一般口演4

座長:青山由利(創価大学理工学部共生創造理工学科)

- ・ O-10 佐々木崇光(静岡県立大学薬学部)
「多環芳香族炭化水素による CYP2D6 発現誘導機構の解析」
- ・ O-11 片桐昌直(大阪教育大学自然研究講座)
「薬物代謝 CYP3A4 のステロイド代謝活性について」
- ・ O-12 川尻 要(埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所)
「芳香族炭化水素受容体:生体防御・恒常性維持に働く多機能性化学物質センサー」

15:30～15:45 閉会式、事務連絡

ポスター発表

(教員・一般)

- ・ P-1 佐能正剛(広島大学大学院医歯薬保健学研究院)
「ネットアイツネガエルの成長・発達過程における肝臓中薬物代謝酵素の変動とアミオダロンの蓄積」
- ・ P-2 中島美紀(金沢大学医薬保健研究域薬学系)
「A-to-I RNA 編集によるヒト AhR ならびに下流遺伝子 CYP1A の発現制御」
- ・ P-3 新京楽(エーザイ株式会社筑波薬物動態研究室)
「How to clarify the exact and main cause of time-dependent inhibition of cytochrome P450?」
- ・ P-4 宇野茂之(日本大学医学部)
「ニンニク精油成分 Diallyl trisulfide (DATS) の AHR を介する生体異物代謝への影響」
- ・ P-5 岩野英知(酪農学園大学)
「環境汚染化学物質ビスフェノール類の代謝から見えてきた薬物抱合の役割」

(学生:ショートプレゼンテーションあり)

- ・ P-6 遠山枝李(富山県立大学工学研究科)
「骨粗鬆症治療薬への応用を目指したビタミンD誘導体の CYP24A1 による代謝」
- ・ P-7 塩谷亜奈里(東北医科薬科大学薬学部)
「CYP26A1 レポーター遺伝子発現ウイルスを用いた低濃度下におけるレチノイン酸合成・代謝酵素活性阻害評価系の検討」

- P-8 小田桐玲生(東北医科薬科大学薬学部)
「CYP3A4 遺伝子の基本的転写活性化に関わる新規シスエレメントの探索」
- P-9 鶴田聡志(静岡県立大学大学院薬学研究院)
「腸管由来 LS180 細胞とヒト肝細胞における CYP3A4 誘導の比較」
- P-10 岡本海利(富山県立大学工学部)
「薬物代謝酵素によるセサミンの代謝解析」
- P-11 高平梨可(富山県立大学工学研究科)
「抱合代謝酵素発現酵母を用いたビタミン E 抱合代謝物調製技術の開発」
- P-12 藤井美春(富山県立大学工学部)
「薬用植物の有効成分であるペンタガロイルグルコースのグルクロン酸抱合代謝」
- P-13 稲葉和恵(筑波大学大学院生命環境科学研究科)
「昆虫ステロイドホルモン生成制御因子 Noppera-bo の構造生物学的解析」
- P-14 天池優斗(静岡県立大学薬学部)
「インビトロにおけるマウス肝細胞の CAR 依存的な細胞増殖」
- P-15 加納誠人(静岡県立大学大学院薬学研究院)
「マウス PXR の新規活性化物質の探索」
- P-16 山近悠斗(広島大学大学院医歯薬保健学研究科)
「ヒト肝細胞移植キメラマウスを用いたヒト・マウス肝臓領域での薬物代謝及び肝毒性の評価に向けて」
- P-17 渡邊美智子(静岡県立大学大学院薬学研究院)
「化学物質のヒトシトクロム P450 阻害活性の網羅的評価」
- P-18 猪俣夢(酪農学園大学獣医学群獣医学類)
「合成エストロゲン DES による妊娠ラットの HDL コレステロール低下と胎児への影響」
- P-19 宮武将之(静岡県立大学薬学部)
「高脂肪食摂餌マウスの肝臓・腸管薬物代謝酵素/トランスポーターの発現変動とその機序について」
- P-20 若月綾乃(静岡県立大学薬学部)
「薬物代謝を考慮した PPAR α レポーターアッセイ系の構築」

最優秀発表賞

学生口頭発表部門： 横堀紘祐(千葉大学大学院医学薬学府)

学生ポスター部門： 稲葉和恵(筑波大学大学院生命環境科学研究科)

山近悠斗(広島大学大学院医歯薬保健学研究科)

一般講演部門： 丹羽隆介(筑波大学生命環境系)

研究会風景



集合写真



